

施策	施策名	市の取り組み	担当課	実施計画 (具体的施策及び方針)	評価基準				評価点	評価の理由と改善策	評価点	評価の理由と改善策
					A+ 100%以上	A 100%	B 50%	C 0%				
1	生物多様性の保全	生物多様性ふくっプランの計画的な実行（重点プロジェクト）	うみがめ課	計画推進のためにPDCAの進行管理のもと実行の遂行を図る。	生物多様性ふくっプランの目標達成のために、それぞれが具体的な計画を立て、全ての計画を実行した。	生物多様性ふくっプランの目標達成のために、それぞれの具体的な計画を立て、一部の計画を実行した。	生物多様性ふくっプランの目標達成のために、具体的な計画について全く議論されていない。	B	理由：一部の計画の実行はできている。計画の優先順位をつけるには至らず。 改善策：今後、計画の優先順位をつけてロードマップを作成しながら計画的に実行する。	B	理由：一部の計画は実施できている。 改善策：今後、ロードマップを作成しながら計画的に実行する。	1
		市民や市民団体、事業者などと連携した市全域の生き物の生息・生育環境に関する情報収集を行うためのしくみづくりの検討	うみがめ課	市内で開催される環境学習や環境トラスト会議、環境フォーラムなどにて市全域の生き物の生息・生育環境に関する情報収集できる仕組みづくりを検討していく。	市民や市民団体、事業者などと連携した市全域の生き物の生息・生育環境に関する情報収集を行い、仕組みづくりの検討を行った。	市民や市民団体、事業者などと連携した市全域の生き物の生息・生育環境に関する情報収集の検討を行った。	市民や市民団体、事業者などと連携した市全域の生き物の生息・生育環境に関する情報収集を行うためのしくみづくりの検討ができていない。	A	環境フォーラムや環境シンポジウムを通じて、市の一部の生き物の生息・生育環境の情報収集を行えた。研究機関や市民団体と、種同定アプリを活用した情報収集について検討した。	B	理由：環境フォーラムや環境シンポジウムを通じて情報収集を行えている。 改善策：情報収集の仕組みを作るため、市民や市民団体、事業者などと連携する。	2
		鳥獣被害などの防護対策を支援	農林水産課	広域連絡協議会（宗像市・福津市・岡垣町）、鳥獣加工処理施設（宗像市・福津市・宮若市・岡垣町）を設置し、鳥獣被害などの防護対策や有害鳥獣を処理するなどの支援を実施していく。	鳥獣被害対策への市民の需要や被害情報を反映した防護対策の支援を実施した。	鳥獣被害対策への市民の需要の反映は不十分だが、現状の被害情報を把握し、防護対策の支援を実施した。	鳥獣被害対策への市民の需要や被害情報を把握できていない。	A	森林管理署との協定などにより、くくり罠などの提供を受けられるよう手配を完了。また特に問題となっているアナグマについて対策等のチラシを作成し、市民の自衛手段について準備を行った。	B	理由：支援の需要に対して供給が追いついていない。 改善策：市と市民が連携し、被害情報を共有して防護対策を支援する。	5
2	豊かな自然環境の保全・再生	福津市まちづくり計画などに基づいて積極的な自然環境の保全	うみがめ課	整合性を図るために、担当課と連携し、市全体で自然環境の保全への取り組みを実施していく。	福津市まちづくり計画と環境基本計画に基づいて、他課と連携した自然環境の保全を実施している。	自然環境の保全に向けて、担当課と協議を行い、計画の整合性を図ることができ、他課との連携が一部できている。	自然環境への保全について総合計画と環境基本計画の整合性について担当課と協議できていない。	B	理由：まちづくり推進室や関係課と連携を取りながら、必要に応じて進捗状況等の内容の確認を行った。 改善策：他課と連携し、自然環境の保全に具体的に取り組む。	B	理由：まちづくり推進室や関係課と連携を取りながら、必要に応じて進捗状況等の内容の確認を行った。 改善策：他課と連携し、自然環境の保全に具体的に取り組む。	6
		農薬や化学肥料の適正な使用など、環境保全型農業に関する調査・研究の実施	農林水産課	普及所や農協と連携し、農薬や化学肥料の適正な使用など市内の環境保全型農業の啓発、取り組みの実態を把握していく。	普及所や農協と連携し、市内の環境保全型農業の実態について経年把握する仕組みを構築、実施した。	普及所や農協と連携し、市内の環境保全型農業の実態について把握した。	市内の環境保全型農業の実態について把握できていない。	B	理由：普及所や農協と連携し、市内での環境保全型農業の実態調査を実施し、把握した。 改善策：減農薬への取り組みについての県補助等の適用も検討する。	B	理由：普及所や農協と連携し、市内での環境保全型農業の実態調査を実施し、把握した。 改善策：継続的に把握する仕組みを構築する。	9
4	省エネルギー型ライフスタイル、ビジネススタイルへの転換	庁舎、さらには学校など市全体でエコオフィスプランに基づいた省エネルギー対策の推進	管財課 うみがめ課	第4次福津市エコオフィスプランを策定し、市庁舎や学校などの公共施設全体の温室効果ガスの削減目標値や、その他の項目として紙用品類使用量と水道使用量の削減目標などを掲げ、省エネルギー対策の推進に努める。	第4次福津市エコオフィスプランで設定した、温室効果ガス総排出量の削減目標及び個別の目標全て達成することができた。	第4次福津市エコオフィスプランで設定した、温室効果ガス総排出量の削減目標及び個別の目標、全8項目中4項目以上達成することができた。	第4次福津市エコオフィスプランで設定した、温室効果ガス総排出量の削減目標及び個別の目標、全8項目中3項目以下達成した。	C	現在8項目中、達成項目は0である。令和2年度（基準年度）と比較し、夏季の気温が高く、空調稼働のための動力を要しましたため、多くの項目で未達成となった。	C	理由：現在8項目中、3項目目標達成している。 改善策：各項目について目標達成できるように取り組む。	16
		省エネルギー対策の取り組みに関する調査・研究の実施	うみがめ課	国、県の施策を調査し、市の省エネルギー対策の方針を検討していく。	省エネルギー対策の取り組みに関する調査・研究を実施した。	省エネルギー対策の取り組みに関する調査・研究の内容を検討した。	省エネルギー対策の取り組みに関する調査・研究が行われていない。	B	理由：方針決定の参考とするため、先進的な取り組みをしている再生可能エネルギー関連企業や周辺自治体に聞き取りを行い、省エネルギーの取り組みに関する調査・研究内容を検討した。 改善策：省エネルギー対策について具体的に調査・研究を実施する。	B	理由：国や県の取り組みを把握し、市での取り組みとして検討を行った。 改善策：省エネルギー対策について具体的に調査・研究を実施する。	19

施策	施策名	市の取り組み	担当課	実施計画 (具体的施策及び方針)	評価基準				評価点	評価の理由と改善策	評価点	評価の理由と改善策			
					Δ+	A	B	C							
					100%以上	100%	50%	0%							
地球温暖化を緩和をする	6	再生可能エネルギー設備の導入の推進	公共施設などに再生可能エネルギー設備、機器の導入の検討	うみがめ課	公共施設において、再生可能エネルギー設備や機器の導入について、担当課と連携を図りながら補助金等を含めた情報提供を行う。		公共施設などに再生可能エネルギー設備・機器の導入を実施した。	公共施設などに再生可能エネルギー設備・機器の導入を検討した。	公共施設などに再生可能エネルギー設備、機器の導入の検討ができていない。	B	理由：再生可能エネルギー関連企業に聞き取りを行い、その内容を契約管財課と共有しながら導入の検討を行った。 改善策：他課と連携し、設備・機器導入の際に再生可能エネルギーを積極的に導入するようはたらきかける。	B	理由：契約管財課に今後の設備導入等の状況について情報共有を行いエコオフィスプラン等との整合性を図りながら検討を行った。 改善策：庁内で連携し、設備・機器導入の際は、再生可能エネルギーを積極的に導入するようはたらきかける。	21	
			市民や事業者、市民団体、教育・研究機関に対して太陽光発電などの再生可能エネルギーの導入に関する情報提供の実施	うみがめ課	国や県などからの再生可能エネルギーの導入に関する情報を収集し、市民や事業者、市民団体、教育・研究機関に対して情報提供を行っていく。		市民や事業者、市民団体、教育・研究機関に対して太陽光発電などの再生可能エネルギーの導入に関する情報提供を実施した。	市民や事業者、市民団体、教育・研究機関に対して太陽光発電などの再生可能エネルギーの導入に関する情報収集し整理した。	市民や事業者、市民団体、教育・研究機関に対して太陽光発電などの再生可能エネルギーの導入に関する情報提供ができていない。	B	理由：国や県・事業者などの取り組みを通じて再生可能エネルギー等に関する情報を収集し整理を行った。 改善策：市民や事業者、市民団体、教育・研究機関から情報を求められた場合、積極的に情報提供を行う。	B	理由：国や事業所の取組を通じて再生可能エネルギー等に関する情報収集し整理を行った。 改善策：市民や事業者、市民団体、教育・研究機関から相談があった場合、積極的に情報提供を行う。	22	
			景観に配慮した再生可能エネルギー設備、機器の導入の検討	うみがめ課	福津市景観計画の景観形成基準に基づき、また、生物多様性の面からみた景観への配慮を促すように関係課と連携を図りながら導入の検討を行う。		景観に配慮した再生可能エネルギー設備、機器の導入の検討を行った。	景観に配慮した再生可能エネルギー設備、機器の導入について、情報収集を行った。	景観に配慮した再生可能エネルギー設備、機器の導入の検討ができていない。	B	理由：導入を検討する課があった場合に情報提供が行えるように情報の整理を行った。 改善策：導入を検討している関係課と連携していく。	B	理由：導入を検討する課があった場合に情報提供が行えるように情報の整理を行った。 改善策：施設の建設更新等の計画が発生した場合、積極的に景観に配慮した設備等の情報提供を行う。	23	
7	再生可能エネルギー利用に関する調査・研究	各種機関や事業者、近隣市町村との共働による、生ごみや剪定くずを活用したバイオマスエネルギーなどの再生可能エネルギー利用に関する調査研究の実施	うみがめ課	各種機関や事業所、近隣市町村と連携し、生ごみや剪定くずを活用したバイオマスエネルギーなどの再生可能エネルギー利用に関する情報収集を行い、利用に向けた調査研究を検討した。		各種機関や事業者、近隣市町村との共働による、生ごみや剪定くずを活用したバイオマスエネルギーなどの再生可能エネルギー利用に関する調査研究の実施を行った。	各種機関や事業者、近隣市町村との共働による、生ごみや剪定くずを活用したバイオマスエネルギーなどの再生可能エネルギー利用に関する調査研究を検討した。	各種機関や事業者、近隣市町村との共働による、生ごみや剪定くずを活用したバイオマスエネルギー利用に関する調査研究に取り組んでいない。	B	理由：太陽光、剪定くずを活用したバイオマスエネルギーについて、市内で発生した剪定くずの処分や市内のバイオマスエネルギー発電事業などについて関連事業者と協議を実施し、調査研究の検討を行った。 改善策：市内のエネルギーの実態について具体的な調査研究を行うため、計画策定関連事業者などと連携する。	B	理由：アオサの利活用について事業所等と協議を実施し、調査研究の検討を行った。 改善策：再生可能エネルギー利用に向けて関係機関と調査研究を実施する。	24		
11	緑の管理と創出	福津市内での環境保全活動を行う市民団体間の情報の共有	うみがめ課	シンポジウムや会議などを年1回程度行い、市内で環境保全活動を行う市民団体がお互いに取り組みの情報共有を行えるようにしていく。		福津市内で環境保全活動を行う市民団体間で情報共有できる仕組みを構築した。	福津市内で環境保全活動を行う市民団体間で情報を共有した。	福津市内で環境保全活動を行う市民団体間で情報を共有する機会がない。	B	理由：環境啓発イベント（環境フォーラム）において、市民団体から情報を提供してもらい共有できる機会を設けた。 改善策：団体間の情報共有については定着してきているが、仕組みづくりに取り組む。	B	理由：環境啓発イベント（環境フォーラム）において、市民団体から情報を提供してもらい共有できる機会を設けた。 改善策：団体間の情報共有については定着してきているが、仕組みづくりに取り組む。	33		
環境教育・環境保全活動と共働のしくみづくり	22	環境保全活動の支援	補助金制度に関する情報の提供など、環境保全活動の支援	うみがめ課	国や県の補助金制度について、情報収集し環境保全活動の支援として情報提供を行い支援する。		国や県の補助金制度に関する情報などを収集し、環境保全活動に取り組む団体に提供する仕組みを整備され、実際に補助金を団体が活用した。	国や県の補助金制度に関する情報などを収集し、環境保全活動に取り組む団体に提供する仕組みを整備した。	国や県の補助金制度に関する情報などを収集し、環境保全活動に取り組む団体に情報を提供した。	国や県の補助金制度について、情報の収集ができていない。	A	継続して補助金制度の情報を収集した。提供対象者を整理し、各郷づくり推進協議会や市民団体への情報提供を行った。	B	理由：継続して補助金制度等の情報を収集し、その都度必要に応じて情報提供を行った。 改善策：収集した情報を環境保全活動に取り組む団体に提供する仕組みづくりに取り組む。	57
			自然と親しむ環境づくり	文化財課 うみがめ課	地域の方や環境団体の協力による自然環境情報を盛り込んだ新原・奴山古墳群など歴史的拠点を掲載した散策ルートマップを作成する。	市を訪れた人が散策ルートマップを活用できるようにした。		新原・奴山古墳群などの歴史的拠点を結んだ散策ルートマップを作成し、周知した。	新原・奴山古墳群などの歴史的拠点を結んだ散策ルートマップの内容を、関係部署と検討し整理した。	自然環境情報を盛り込んだ新原・奴山古墳群などの歴史的拠点を結んだ散策ルートマップの検討ができていない。	B	理由：環境団体から提供された情報を蓄積し、関係課と連携して散策マップの作成を検討した。 改善策：関係課と協議し、散策マップを作成する。	B	理由：環境団体から提供された情報を蓄積し、散策マップの作成を検討した。 改善策：関係課と協議し、散策マップを作成する。	61